幸手傾聴ボランティア・ピース　定例会レジメ

2023年4月度　定例会

日　時　　4月10日（月）　13：30～
会　場　　ウェルス幸手（第1会議室）
司　会　　S

１．第17回通常総会　13：30～14：00（第1会議室）
　来賓　幸手市社会福祉協議会事務局長　　M様
　　幸手市ボランティア市民活動センター担当　　M様
　　幸手市ボランティア市民活動センター担当　　Y様

2. 定例会　総会終了後（休憩10分）14：10より開会（第1会議室）
　1）連絡事項・活動報告　会費1,200円
　2）令和5年度の行事計画について

3. 今後の予定
　1）5／29（月）定例会　9:30~9:50　（機能回復訓練室）
　1）5／29（月）フォローアップ講座（T先生）（研修室）10:00~15:00
　2）6／19（月）他己紹介（S）
　3）7／11（月）タッピングタッチ（M先生）

4. お知らせ
　1）4／21　（月）社協ボランティア代表者会議（S出席予定）
　2）電話傾聴　退会のMさんの後任　新人のNさんに決まる
　3）5月中旬　ピースOB食事会

◎3月度議事録
　1）3月度定例会参加者　16名
　2）令和5年度の月別行事計画を話し合う
　　新人の自己紹介を兼ねて全員が3分間の近況報告をする

※今月のことば　「自分にとって傾聴ボランティアとは」より
　◎お話をきかせていただくこととは
　　以前の私は、人間関係において、こちら側とあちら側に分けていた。つまり、私の価値観と合う人、合わない人で境界線を引き、価値観の合わない人とは、失礼のない程度のお付き合いをし、積極的に相手を理解しようなどとは考えもしなかった。
　　それは、私の人としての幅も人間関係も狭くしていたと思うし、またそのことに気づいていても私は平気だった。今も大して変わっていないかもしれない。でも、少なくとも、傾聴ボランティアを通じて、大勢の高齢の方と接し、否定せず、積極的に受容・共感して、お話を聴かせていただく努力を続けてきた。その中で、それぞれの人の価値観は、それぞれの人にとって大切なもので、すべての高齢の方は、その人なりに懸命に生きてこられたことを知って、尊敬の気持ちが、自然と沸き起こるようになった。
　　私のボランティア活動は、細々だが社会とつながり広がり、自分自身の向上をいつまでも続けて行くために、是非とも必要なものだと思っている。